

ケースプレゼンテーション試験予演会 および 専門医取得個別相談会

ケースプレゼンテーション 試験予演会 および 専門医取得個別相談会

日時：平成29年3月5日(日)

場所：都市センターホテル



福西 雅史
(神奈川県)



森田 莊一朗
(千葉県)



佐久間 栄
(東京都)

専門医取得への万全なサポート体制

平成29年3月5日に都市センターホテルにて、ケースプレゼンテーション試験予演会並びに、専門医試験についての個別相談会が開催されました。

CISJは万全な指導サポート体制のもと、平成28年度専門医試験では、5名の先生が無事に合格され、念願の日本口腔インプラント学会専門医100名が達成されました。

今回ケースプレゼンテーション試験予演会参加者は14名程度、専門医試験個別相談会参加者は6名、田中会長、中野副会長、小倉専門医委員会委員長、佐久間先生を始め

専門医委員の先生など大変多くの先生方が参加され、ポスターも会場を取り巻くように貼られ、試験に向けた大変な熱気と気合いをひしひしと感じました。

私は今回、来年度の専門医試験の受験を目指して、多数歯欠損3症例を含めた、20症例を選定し、申請するためにご相談、ご指導を受けさせていただきました。

そのチェックは、私が想像していた以上に、細かく、厳しいものでした。また、想定質問も、私にとって厳しく、現時点では的確に返答することができませんでした。私は、専門医試験に対して、少し楽観的というか、甘く考えていたことは否定できません。初めにその甘い考えを打ち砕いて下さったことに、大変感謝しています。





また専門医試験の受験にあたり、改めて資料採取の大切さを痛感しました。抜歯後やインプラント手術直前の5枚組の口腔内写真やパノラマX-Pがないことで、その症例を申請することはできません。特に手術前の資料

採取をより一層心掛けることを考えました。

次に、今回私が20症例選定のために、ご指導頂いた点を挙げさせていただきます。

【診査診断】

まず診査診断が大切。口腔内全体を1口腔単位で考えること。現病歴、現症、既往歴の違い。抜歯に到った経緯、理由。ブリッジを外してインプラントにする理由。

【パノラマレントゲン写真】

パノラマレントゲンの撮影角度、位置づけが重要、咬合平面をどう合わせるか。撮影ポジション。アナログをデジタル・スキャナーする場合に注意。顎関節の状態、位置、骨密度など。その他の歯の根尖病巣など。根管治療の必要性。抜歯後の骨の治癒状態を撮影して確認すること。

【CT撮影・シミュレーション】

CTを撮影の有無。CTの撮影ポジション。その診査の理由。CT撮影の回数。ガイドを使用しているか?ガイド及び埋入方向、位置、深度の決定方法。

【インプラントの設計】

インプラント埋入本数、位置決定の根拠。

【コンサル等について】

写真・レントゲン使用の同意書並びに手術の同意書が重要。

【補綴物・上部構造について】

補綴物の形態。アバットメントの形態・立ち上がり。不良補綴物はダメ。マージンにステップがないか?印象方法。セメント式、固定式の選択。インプラント周囲炎を予防するための配慮。

【サイナスリフトとソケットリフト】

上顎洞までの距離などから、同時法、段階法、ラテラル、クレストアップアプローチの選択、適応症。ソケットリフトは否定的な先生がいるために注意が必要。ブローテストを行うこと。エアール漏れの有無。

【骨補填材の選択】

選択理由 自家骨、HA、 β -TCP。

【抜歯即時インプラントについて】

抜歯即時インプラントの選択条件。できるだけ避けたい方がよい。炎症がないことが大前提。

【上部構造装着時とメンテナンス】

咬合関係。上部構造装着時に歯肉に炎症がないこと。メンテナンス時良好な状態であること。

【20症例の選定について】

できるだけ単純シンプルな1歯欠損を選ぶこと。安心安全にインプラント治療を行っていることが問われる試験。

私は現時点(平成29年3月)では、まだ来年度の専門医試験を受験させて頂くかどうか決定はしていませんが、今回専門医取得個別相談会に参加させて頂いて、実際に自分の症例を見て頂いて直接ご指導頂いたことは、大変大きな経験となりました。まだまだ自分のインプラント治療に対する医療知識、医療倫理、姿勢など至らない点が多く、未熟な点が多いのですが、これからもインプラント治療を行っていく者として、常に患者さんの側に立って患者さんの利益を第一に考えて、安心安全なインプラント治療を考え誠実に向き合っていこうと考えております。

この1年間の私の経験が、これから専門医試験を受験する予定の先生にとって、少しでも貢献できましたら幸いです。夏の全員発表会や学会での発表、勉強会の係など、積極的にチャレンジしていきましょう。

私はCISJに所属させて頂くことによって、多くの大変素晴らしい先生方と一緒にさせて頂き、様々な勉強をさせて頂いていることに大変感謝しております。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

福西 雅史

ケースプレゼンテーション試験 全員合格を目指して

平成29年3月5日（日）、都市センターホテル（東京）にて、日本口腔インプラント学会（JSOI）専門医および専修医を目指すCISJ会員のための、ケースプレゼンテーション試験の予演会が行われました。

今回のケースプレゼンテーション試験は学会期間中に行われる試験が最終ということもあり、この機会を逃したくなく受験を決意しました。

ご存知のように日本インプラント臨床研究会では学会の発表の前に予演会を行います。ケースプレゼンテーション試験を受験する先生が自分達の発表用ポスターを作成しそれを諸先輩の先生方の前で発表を行い、ご指導、ご指摘していただきました。

発表における話すスピード、文字のフォント、大きさ、文章の構成、ポスターの見やすさ、内容を細かくチェックし全員がケースプレゼンテーション試験に合格するように各々指導していただきました。他の勉強会ではこういった予演会がないと聞いていますので非常にありがたいと感じました。今回の予演会から自分たちの所属する日本インプラント臨床研究会のバックアップ体制が充実していると感じました。

そして自分の経歴の為だけではなくお世話になっている日本インプラント臨床研究会が他の勉強会よりも強い勉強会であり続けられるように専門医を目指しケースプレゼンテーション試験に合格できるよう頑張っていきます。

森田 荘一郎

専門医委員会の活動報告

平成29年3月5日、日本インプラント臨床研究会専門医委員会が中心となって毎年恒例となっております日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーション試験予演会と専門医取得個別相談会が東京都永田町の都市センターホテルにて行われました。

今回専門医試験を受験予定の先生5名、ケースプレゼンテーション試験を受験予定の先生15名、見学の先生を含め総勢30名以上の会員が集まりました。

まず最初に田中 譲治会長のご挨拶から始まりました。



その中のトピックとして今年1月の専門医試験において当会所属の専門医を取得した先生の人数が念願の100名を越えて現在102名になったことの報告がありました。

ケースプレゼンテーション試験予演会 および 専門医取得個別相談会

毎年ご指導を頂いております田中会長、井汲 憲治前会長、中野 喜右人副会長、笹谷 和伸専務、また小倉 隆一委員長を筆頭に津川 順一先生や私を含め専門委員会のメンバーの長年の苦勞が報われた感じがしたとても嬉しいニュースでした。

続いて専門医委員会の小倉委員長より専門医試験とケースプレゼンテーション試験についての解説をそれぞれ60分程度して頂きました。

参加した先生は当会ならではの細かな注意点や試験の傾向等、とても有益な情報を得ることが出来たと思います。

そのあとグループを二つに分けて専門医試験を目指す先生は受験資格の確認と試験に使用する多数歯欠損を含む20症例のチェックとその良し悪しの解説を1人30分以上かけて丁寧に行い症例選びのポイントを指導致しました。

この個別相談会を経て7月末の専門医試験受験者申請審査会に臨みます。



また、ケースプレゼンテーション試験を目指す先生はポスター発表をして頂き、試験員の想定質問をして症例の問題点や修正点、改善点のアドバイスをを行い、さらに資料の不備、誤字脱字、症例の差し替えも含めて指導致しました。

最後に残っていた先生については概要報告書のチェックも行い、活発な意見や質問等が飛び交う活気のある会議が盛況のうちに閉会となりました。

ご存知の先生も多いと思いますが今年9月仙台で開催される第47回学術大会を最後にケースプレゼンテーション試験の開催時期が翌年1月に変更になります。

つまり平成30年9月大阪で開催予定の第48回学術大会期間中にはケースプレゼンテーション試験はなくなり平成31年1月東京で開催されることになり、今後は専門医試験と同時期の毎年1月に行われることになります。

したがって今後当会のケースプレゼンテーション試験予演会の日程も来年度からは変更になる予定ですので該当する先生は注意してください。

今後、更なる日本インプラント臨床研究会の強固な組織力を高める上で、当会の専門医取得までのサポートは非常に重要な部分であると考えます。

現在、専門医委員会の人数は不足しておりますので、ぜひ一緒に勉強しながら仕事を手伝える先生は事務局の方にご連絡ください。会員皆様のご協力をお願いいたします。

最後に今年度専門医委員会の日程をお知らせ致します。

平成29年7月30日

専門医試験受験者申請審査会

平成29年12月 2日

専門医試験直前説明会

専門医委員会副委員長 佐久間 栄